

2018 10/23

No.2077

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



9日、神宮球場で横浜DeNAはヤクルトに4-1で勝利したものの、巨人も勝って4位が決定、3年ぶりにクライマックスシリーズ（CS）進出を逃した。



視点・点描	3
半世紀前の「熱気」伝える	
経 済 (誌上座談会)	4
自動車、農産物で対日圧力 日米、新貿易交渉に合意	
まつりごと点描	8
改造内閣に新味なし 臨時国会で論戦再開	
くらし2018	10
専門家に聞く「がんとお金」	
アジアの風	12
自己相対化説く台湾作家	
NNAアジア経済レポート	13
神奈川景気データファイル	14
神奈川景気データファイル	15

事務局だより

◇2018年11月定例講演会
2018年11月15日(木)
午後1時30分～3時
ロイヤルホールヨコハマ5階
「リビエラの間」
講師はプロデューサー、クラブ・ウィルビー代表の残間里江子さん
演題は「時代を読む力～女性・シニアの活躍、ハラスメント事情～」

【お知らせ】神奈川政経懇話会ではホームページ(www.kanagawa-seikon.jp)に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局 ☎045(226)2121。

視点 点描



半世紀前の「熱気」伝える

神奈川新聞で連載「YOKOHAMA 1968 熱かったあの1年」(火曜日掲載)が今月から横浜版で始まった。

50年前の1968(昭和43)年に焦点を当て、神奈川新聞紙面から、当時の生活や事件、大衆文化などを振り返る企画。テーマに沿って本社アーカイブズ担当者が記事を探し、横浜市史資料室主任

調査研究員の平野正裕さんが執筆している。

神奈川新聞社は2020年2月に創業130周年を迎える。記念した企画でもあり、紙面と連動した展示・写真も同資料室で19年1月11日まで開催している。入場無料。

なぜ、1968年なのか。平野さんは「今の横浜という街を形づ

くる上での転換点なんですよ」と話す。高度経済成長後期の横浜は人口が200万人を超え、郊外の開発が進んだ。飛鳥田一雄・革新市政の下、未来志向の街づくりも進んだ。大衆文化では「伊勢佐木町ブルース」と「ブルーライト・ヨコハマ」の二つの流行歌が生まれ、世に「港町ヨコハマ」を知らしめた。

連載の2回目では、「伊勢佐木町ブルース」を取り上げた。「伊勢佐木町ブルース」にはクラブ歌

手のデニー白川が歌う盤と青江三奈盤があり、伊勢佐木町一・二丁目商和会がデニー盤を、3〜7丁目の伊勢佐木町商店街が青江版を応援していた、というエピソードを紹介。「ご当地ブルース」と地元との関係もろくろく知ることができ、興味深い。

展示では連載で紹介した記事や資料など約50点を展示。当時の世相を多角的に伝える。大学紛争あり、ベトナム戦争時にひとときの休暇を横浜で過ごす米兵の姿あり、時代の大きなうねりを感じる。取材にまい進していた当時の記者の姿が目につく。

半世紀前の時代の「熱気」を感じることで、平成の終わりの「今」を改めてかみしめたい。ぜひ多くの人に連載を読んでいただき、展示を見ていただきたいと思います。

(神奈川新聞社編集局長次長

秋山 理砂)

